

三重韻七行付訓本類の付刻カナ一覽 (四)

——付刻カナ(訓)の異同の場合——

三澤 成博

三重韻七行付訓本類の付刻カナ(訓)の異同については、すでに上平声・下平声・上声までの表化を試みた(『和洋女子大学紀要』42集〈文系編〉)。今回はこれに引き続き、残りの去声・入声に就いて行うことにする。

表化に当たっては以下の方針を採用(前回掲載のものを修治)したが、表中、甲類・乙類・丙類とあるのは、七行付訓本類を内容の違いにより三類に分けたものである。詳細については拙論「三重韻七行付訓本(原三重韻)について——有刊記本の分類とその関係——」(『和洋女子大学紀要』32集〈文系編〉)を参照していただきたい。

また、表中a・b本とあるのは、刊行年は同じであつても刊記や本文内容に違いが認められることから、仮にそのように名付けたものである。具体的には左の四点を指す。

- (a) 寛永九年a・b本——刊記はともに「寛永九壬申仲／春吉旦新刊行」とあるが、内容の違いにより甲類所属のものをa本、乙類所属のものをb本とした。
- (b) 寛永二十一年a・b本——ともに丙類に所属するが、刊記の違いにより「寛永^甲下夏吉旦／三條通菱屋町／林甚右衛門新板」をa本、「寛永甲申初冬上旬／書林豊興堂新梓刊」をb本とした。
- (c) 正保二年a・b本——刊記・内容何れもが異なる。刊記が「正保二歳四月吉旦／中野氏道伴新刊行」(木記)とあつて、乙類所属のものをa本、刊記が「正保二^乙初冬／野田弥兵衛^{新板}」とあつて、丙類所属のものをb本とした。
- (d) 正保四年a・b本——これも刊記・内容が異なる。刊記が「正保四^丁初夏／敦賀屋九兵衛^{新板}」とあつて、乙類所属の

ものをa本、刊記が「正保丁亥孟冬日／書林豊興重校刊」

(木記)とあって、丙類所属のものをb本とした。

【方 針】

- (1) 付刻カナを音・訓に大別し、それぞれを四声の違いにより五分類(平声は上下二種)した。
- (2) 七行付訓本諸版を類(甲・乙・丙)ごとに成立年代順に並べた。このうち、右拙論で報告したごとく、寛永十五年版は寛永三年版の後修本、慶安三年版は寛永二十一年a本の後印本であるが、両者の関係を明示する意味から、そのための削除はしなかった。但し、披見の両書には一部別版による差替えが見られる(本文単辺のところは双边のものはいる)ため、その箇所は表中斜線を引いて調査対象外とした。
- (3) 韻目名の表示は、その番号を算用数字で示した。
- (4) 門名の表示は、乾坤門は乾、態藝門は態のように、すべて頭字のみで示した。
- (5) 七行付訓本諸版が表記のカナに合致する場合は、○を付してこれを示した。
- (6) 「付刻カナの有無」の欄における「無」は、当該のカナに対し、それが認められないことを表し、また、「付刻カナの異同」の欄における破線は、それが掲載のカナと同じで

あることを表したものである。

- (7) 付刻カナに表記上の違い(「セ」対「せ」、「ハ」対「ワ」や清濁など)が認められる場合は、これにより他の版種との関係が捉えられるため、左の方法にしたがってその違いを示すことにした。

- (イ) 版中最も多く見られるカナを「付刻カナの有無(異同)」の欄に掲げ、その他の場合は●・◎・△・▲・□の記号を順に用いてその差が判るようにした。また、これらの違いは各声末に注記した。

- (ロ) 正誤の判定は、原則として右の範囲にとどめた。

- (8) 音注は当該字の右側に付せられるのが普通であるが、左側や左下の場合もある。これは刻すべきスペースがそこになかったことによるもので、このような事情で二箇所に分かれてカナが認められる場合は、右側のカナから順に記した。なお、音注が左側にのみ認められる場合は、カナの欄の下に(左)を付し、また、二つとも右側にカナが認められる場合は、欄上に※を付してそれぞれ他と区別をした。
- (9) 訓注が二箇所に分かれて存する場合は、見出し字に対し、右側のカナから順に記した。但しこの場合、記載スペースの都合上、同一行にカナが有るか否かを示すことまではしなかった。

(二) 去声

三重韻七行付訓本類の付刻力ナ一覽 (四) (三澤)

四五

32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	No
6	6	5	5	5	4	4	4	4	4	4	韻目
態	態	虚	態	態	虚	虚	虚	虚	虚	器	門名
19ウ3	19ウ2	18オ7	18オ1	17ウ4	15オ3	15オ1	14ウ7	14オ5	14オ4	13ウ5	丁数・行数
䟽	叢	沸	壑	乞	棄	利	匱	爲	積	轡	見出字
シル ○	ウツ ス	カク ル	カケ ウツ	フク	タキ ル	タル	ヲヨ ソ	ヌル	アタ ウ	コウ ツ	付刻カナ の異同
●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	諸本
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刊記墨丁
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永5年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永7年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永15年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永10年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永16年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永19年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	慶安3年

43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	No
8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	韻目
態	態	態	態	虚	態	態	態	態	態	態	門名
30ウ2	30ウ1	30オ6	30オ5	27オ1	25オ1	24ウ3	24ウ2	23ウ3	23ウ1	19ウ7	丁数・行数
勵	儷	擠	劓	務	遇	寤	誤	賂	娶	庶	見出字
ハゲ ○ス	ハゲ マス	モラ ウ	ナラ ウ	ヲシ ロテ	ヲシ ヒラ	ハナ カル	ハナ キル	メト ム	ツツ リコ	ワウ	付刻カナ の異同
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	諸本
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刊記墨丁
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永5年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永7年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永15年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永10年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永16年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永19年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	慶安3年

54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	No									
11	11	11	11	10	9	9	9	9	9	8	韻目									
態	態	態	態	態	虚	食	生	態	態	虚	門名									
37ウ 1	37オ 7	37オ 6	37オ 5	35ウ 1	33オ 6	33オ 3	32ウ 7	32ウ 6	32ウ 2	31オ 1	丁数・行数									
賽	悔	能	昧	殺	泰	膾	艾	害	檜	滯	見出字									
カ ヘリ マウシ	カ ヘリ マウシ	クイ・クウル ツウル	イ タウ	ヨ クス	ク クシ	コ ロス	コ ロス	ユ タカ也	ヲ、イ也	ナ マツ	ナ マス	ヨ モギ	ヨ モキ	ソ コナフ	ソ コナフ	サイ ワイ	サイ ハイ	ア ツマル	ア マミツ	付刻カナ の異同
	○	○		○		○	○		○			○	○		○	○			●	刊記墨丁
	○	○		○		○	○		○			○		●	○	○			○	寛永3年
	○	○		○		○	○		●			○			○	○			○	寛永5年
	○	○		○		○	○		◎			○	○		○	○			○	寛永7年
	○	○		○		○	○		○			○	○	◎	○	○			○	寛永9年 a
	○	○		○		○	○		○			○	○	●	○	○			○	寛永15年
○			○	○		○		○		○		○			○	○			◎	寛永9年 b
○			○		○		○	●			○	○			○	○		○		寛永10年
○			○	○	○		○	○		○		○	○		○	○		○		寛永16年
○			○	○		○	○		○		○	○	○		○	○			◎	寛永19年
○			○	○		○		○		○		△	○			●			◎	正保2年 a
○			○	○		○		○		○		○			○	○			◎	正保4年 a
	○	○		○		○		◎		○		○		○	○	○			●	寛永21年 a
●		○		○		○		◎		○		○			○	○			○	寛永21年 b
	○	○		○		○		◎		○		○			○	○			●	正保2年 b
	○		○	○		○		◎		○		○			○	○			○	正保3年
	○	●		○		○		◎		○		○			○	○			●	正保4年 b
	○	○		○		○		◎		○		○			○	○			●	慶安3年

65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	No													
15	14	13	13	13	13	13	12	11	11	11	韻目													
氣	態	虛	光	光	態	氣	支	複	光	態	門名													
45オ2	43ウ1	41ウ6	41ウ3	41ウ2	40オ5	39ウ7	38オ5	38オ2	37ウ5	37ウ1	丁数・行数													
斬	聞	僅	燼	燐	覲	舜	喙	黷	黛	慨	見出字													
フ タシ	カ タシ	キ コウ	キ ク	ワ ツカ	ワ ツカニ	ホ ノフ	ホ ノヲ	キ ツウヒ	キ ツ子ビ	マ ユミ	マ ミユ	サ ゲシ	サ ガシ	ク チハシ	ク レハシ	タ ナヒク	タ チツハク	タ カヒク	マ イスミ	マ ユスミ	ホ ケク	ナ ゲク	付刻カナ の異同 諸 本	
○		●		○	○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		刊記墨丁
○			○	○	○		○	○		○	○	●		○	○		○	○	○	○		○	○	寛永3年
			○	○	○		○	○		○	○	●		○	○		○	○	○	○		○	○	寛永5年
	●		○	○	○		○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○	寛永7年
○		○	○	○	○		○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○	寛永9年a
	○		○	○	○		○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○	寛永15年
	○		○	○		○	○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○	寛永9年b
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	寛永10年
	○		○	○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	寛永16年
	○		○	○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	寛永19年
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	正保2年a
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	正保4年a
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	寛永21年a
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	寛永21年b
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	正保2年b
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	正保3年
	○	○		○		○	○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	正保4年b
	○	○					○		○	○		○	○	○		○		○	○	○		○	○	慶安3年

[illegible]

97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	No											
23	23	22	22	22	22	22	20	20	20	20	韻目											
態	態	虚	虚	態	態	氣	虚	態	態	態	門名											
67ウ3	67オ7	65ウ7	65ウ7	65オ6	64ウ1	64オ5	61オ7	60オ7	60オ6	60オ4	丁数・行数											
賀	餓	燥	冒	膏	耄	驚	悄	眺	哨	諂	見出字											
ヨロコビ	ヨロコビ	ウヘル	ウ、ル	カハク	カワク	ヲカム	ヲカス	アフラツク	アフラツク	ホレタ○	ホレタリ	ハメ	ハス	スミヤカ	スミヤカ也	ノワム	ノソム	クチユフ	クチユカム	エムル	ソシル	付刻カナ の異同
○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		諸本
	○	○			○	○			○	○			○		○		○		○		○	刊記墨丁
	○	○			○	●			○		○		○		○		○		●		○	寛永3年
	○	○			○	○			○		○		○		○		○		◎		○	寛永5年
	○	○			○	○			○		○		○		○		○		○		○	寛永7年
	○	○			○	○			○		○		○		○		○		○		○	寛永9年 a
	○	○			○	○			○		○		○		○		○		○		○	寛永15年
	○	○			○	◎			○		○		○		◎		○		●		○	寛永9年 b
	○	○		○		○		○			○		○		○		△				○	寛永10年
	○	○			○	○			○		○		○		○		○		●		○	寛永16年
	○	○			○	○		○		○		○		○		○		○		○	○	寛永19年
	○	○			○	△			○		○		○		○		○		○		○	正保2年 a
	○		○		○	△			○		○		○		○		○		○		○	正保4年 a
○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		寛永21年 a
○		○		○		○		○		○		○		○		○		△		○	●	寛永21年 b
○			○	◎		●		○		○		○		○		○		○		▲	○	正保2年 b
○		○			○	○		○		○		○		○		○		○		○	◎	正保3年
○			○	△		○		○		○		○		○		○		○		□	○	正保4年 b
○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	○	慶安3年

108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	No											
25 態	25 態	25 態	24 器	24 態	24 態	24 態	23 虚	23 態	23 態	23 態	韻 目 門 名											
74ウ 2	74オ 7	74オ 6	72オ 1	71ウ 2	71ウ 2	71オ 7	68ウ 5	68オ 2	68オ 1	67ウ 5	丁数・行数											
償	餉	讓	榨	稼	啖	怕	大	挫	和	痺	見 出 字											
ツタノウ	ツクノウ	カヒイス	カレイス	ユツ○	ユツル	クサシ	クサビ	モノツクリ	モノツクル	ナゲク	ナケク	ヲワル	ヲソル	ヲ、イ	ヲ、イ也	トリヒシク	トリヒサク	ヤワラク	ヤハラク	イタツカワル	イタツカワシ	付刻カナ の異同
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	諸 本
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刊 記 墨 丁											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 3 年											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 5 年											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 7 年											
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	寛 永 9 年 a											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 15 年											
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 9 年 b											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 10 年											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 16 年											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 19 年											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正 保 2 年 a											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正 保 4 年 a											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 21 年 a											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛 永 21 年 b											
○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	正 保 2 年 b											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正 保 3 年											
◎	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	正 保 4 年 b											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	慶 安 3 年											

119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	No.	
27	27	26	26	26	26	25	25	25	25	25	韻目	
態	時	虚	態	態	態	虚	器	食	態	態	門名	
82ウ 3	82オ 5	80オ 1	78ウ 6	78ウ 4	78ウ 2	76ウ 3	75ウ 4	75ウ 1	75オ 3	74ウ 6	丁数・行数	
腥	暝	併	行	祭	膨	曠	盜	醯	壙	迂	見出字	
ナ マ ナ マ サ シ	ナ マ ク サ シ	ク ル、 ク レ フ ワ セ テ	シ カ シ ナ カ ラ ア ワ セ テ	ソ コ ナ ウ	マ サ ニ マ ツ リ	フ ク ル、 フ ク ル	タ ラ シ ト ラ シ	ホ ト ギ ホ ト キ	ニ ロ リ サ ケ ニ コ リ サ ケ	ウ ツ ホ ウ ツ	イ タ ツ カ ハ シ イ タ ツ カ ハ シ	付刻カナ の異同 <

甲類
乙類
丙類

130	129	128	127	126	125	124	123	122	121	120	No.
29	29	29	29	29	29	29	29	28	27	27	韻目
態	態	態	態	氣	時	乾	乾	光	複	虚	門名
88オ2	88オ2	88オ1	87ウ7	87オ1	86ウ3	86オ7	86オ6	84ウ3	83オ4	82ウ7	丁数・行数
驟	仆	皺	瘦	畜	漏	竇	雫	蒸	庭	定	見出字
ウコヅク	ウクツク	タワル、 マシナウ	マシナウ マシナウ	シワム	ヤスル	ヤセ	モル・ウカツ	ムス	ハス	ムス	付刻カナ の異同 諸本
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刊記墨丁
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永5年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永7年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永15年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永10年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永16年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永19年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	慶安3年

甲類
乙類
丙類

141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	No									
32	31	31	31	30	30	29	29	29	29	29	韻	目								
複	態	態	態	態	態	虚	虚	器	態	態	門	名								
97ウ 5	94ウ 1	94オ 6	94オ 5	92ウ 3	92ウ 1	90ウ 6	90ウ 4	90オ 4	88ウ 2	88オ 4	丁数・行数									
碑	睽	懣	擔	堪	潛	茂	舊	輜	吼	踣	見	出 字								
ヒラクメル	ヒラメク	カヘミル	ウカヘミル	○サフリ	ヲサフル	サタム	ニナウ	ツハシム	ソシハ	ソシル	サカンナリ	シケル サカン也 ・ユルシ	ムカシ・フルシ	ナカヘ	カルシ	ホユル	ヨハフ	タウル	タラム	付刻カナ の異同
	○		○		○		○		○				○		○		○			諸 本
○			○		○		○		○				○		○		○		○	刊記墨丁
○			○		○		○		○				○		○		○		○	寛永3年
○			○		○		○		○				○		○		○		○	寛永5年
○			○		○		○		○				○		○		○		○	寛永7年
○			○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永9年 a
○			○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永15年
○			○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永9年 b
○			○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永10年
○			○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永16年
●			○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永19年
●			○		○		○		○		○		○		○		○		○	正保2年 a
◎			○		○		○		○		○		○		○		○		○	正保4年 a
	○	○			○		○		○		○		○		○		○		○	寛永21年 a
	○	○			○		○	●			○		○		○		○		○	寛永21年 b
	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	正保2年 b
	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	正保3年
	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	正保4年 b
	○	○			○		○		○		○		○		○		○		○	慶安3年

(注記)

- ① Na 2の●は「ヲジ」を「ハフジ」に誤る。また、◎は濁点のない「ヲシ」にする。なお、表中において寛永十五年版に付した括弧は、寛永十五年版が寛永三年版の後修本であるが故に印刷の不鮮明な箇所が生じていて、寛永三年版とまったく同一でないことを示したものである。
- ② Na 3の●は「サヘツル」を「サヘヤル」に誤る。なお、掲載の「サヘトル」は「サヘツル」の誤りである。
- ③ Na 6の●は「ヲロソカ」(「ヲロカ」の誤り)を「ヲロカナリ」に訂する。「ヲロカナリ」の「ヲロ」と「カナリ」の間に一字相当の空が見られることから、「ヲロソカ」の「ソ」を削り、「ナリ」を追刻したものと判ぜられる。また、◎は「ヲロソウ」(「ヲロソカ」の誤り)を更に「ヲコノウ」に誤る。
- ④ Na 8の●は「トキノコヘ」を他本すべてが「トキノ」と「コヘ」の二行に分ち刻すのに対し、一行に揃えている。なお、掲載の「トキノコハ」は「トキノコヘ」の誤りである。
- ⑤ Na 10の●は「マナシリ」の「リ」の初画を欠く。また、◎は「マイタ」を「マフタ」にするが、「マナフタ」の「ナ」は縦線上部が左に曲がっている「チ」に見紛う。
- ⑥ Na 11の●は「カウタ」、漢文注「飯也」とあるが、「飯」は埋木である。寛永三・五年版が「飯」の旁を「タ」のごとく刻すことから、これを本書寛永七年版が錯誤したものと判ぜられる。また、◎は「ヤシナウ」の「ウ」の大半を欠き末画縦線の終筆部分が僅かに見えるに過ぎない。
- ⑦ Na 12の●は「ウカ、ウ」を「ウカ、ワ」に誤る。
- ⑧ Na 14の●は「マイナウ」の「ナ」の縦線上部左側に右下がりの線があったて、「子」のごとく見える。また、◎は「マイナウ」の「ナ」の字を脱する。
- ⑨ Na 15の●は「ワツライ」を「ワソライ」に誤る。「ソ」は「ツ」の欠刻ではない。
- ⑩ Na 16の●は「クシル」を「タシル」に誤る。
- ⑪ Na 17の●は「サカシ」を「サトル」にする。なお、掲載の「モノヒル」は「モノシル」の誤りである。
- ⑫ Na 20の●は「タヲカレ」(「タチカレ」の誤り)を更に「タヲカル」に誤る。また、◎は「タヲカレ」の「レ」が「シ」に見える。
- ⑬ Na 22の●は「クツワツラ」を「クツワツテ」に誤り、◎は「クツワ」を「クツラ」に誤る。

- 14 Na 23の●は「アツム」を「アフム」に誤る。
- 15 Na 24の●は「タメコ」(「タメニ」の誤り)を更に「タメエ」に誤る。また、◎は「タメニ」を「タメラ」に誤る。見出し「爲」の左側縦線を「ラ」の末画縦線に誤ったものである。該当の正保二年b本と正保四年b本の関係が推定できる。
- 16 Na 25の●は濁点のない「クツル」にし、◎は「トホシ」を「トサシ」に誤る。また、△は「ヲクル」(「ツクル」の誤り)の「ヲ」が「ラ」に見える、▲は「タクル」に誤る。
- 17 Na 27の●は「コツル」(「スツル」の誤り)を更に「ニツル」に誤る。
- 18 Na 32の●は「シルス」の「ス」の上部が僅かに見えるに過ぎない。寛永三年版が「シルス」の「ス」の字を脱するもの、この刊記墨丁本に拠っていたと見るならば理解できる。なお、寛永五年版も寛永三年版と同様に「ス」の字を脱するが、これは五年版が三年版を承けていたことに依るもので、刊記墨丁本との間に直接関係があつてのことではない。
- 19 Na 33の●は「コイ子カウ」の「ウ」の第二画が潰れていて、文字としても判然としない。また、◎は「コイ子カフ(ウ)」の「フ(ウ)」の字を脱する。
- 20 Na 34の●は「メアメ」(「メアワス」の誤りか)の「メ」(語末)の初画が第二画と接する部分までしかないため「ヌ」の字の欠にも見える。また、◎は「メアメ」を更に「メアス」に誤る。
- 21 Na 35の●は「ツクリモノ」の「リ」の末画が短く、右隣りの訓「マイナイ」の「イ」(第一番目)の初画にも接しているため「ル」に見紛うが、◎は明らかに「ル」に誤る。
- 22 Na 39の●・◎はともに「マツリコト」を「マツリニト」に誤るが、◎は更に「メトム」(「ツトム」の誤り)を「タトム」にも誤る。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。但し、正保四年b本は「マツリニト」の「ニ」を「コ」に訂しているようにも見える。
- 23 Na 41の●は「ラシヒラク」の「ヲ」を「ラ」に誤るが、◎は反対に「ラ」を「ヲ」に訂している。
- 24 Na 42の見出し「儼」は漢文注「伉」とあり、「並ぶ」の意であることから、掲載の「ナラウ」は「ナラフ」の誤りと判ぜられる。「モラウ」も「ナラウ」の「ナ」を誤ったものであろう。
- 25 Na 43の●は濁点のない「ハゲマス」にする。なお、掲載の「ハゲ〇ス」の〇は「ハゲマス」の「マ」の字の脱を示したものである。
- 26 Na 44の●は「アマミツ」を「アミ、ツ」に誤り、◎は「アミツ」に誤る。
- 27 Na 45の●は「サイワイ」の「ワ」が「フ」に見える。初画の欠刻と見るべきか。
- 28 Na 46の●は「ソコナフ」の「フ」の横線中央部を欠き、◎は「ソコナフ」の「フ」を「ウ」にする。
- 29 Na 47の●は「ヨモギ」の濁点が潰れて一点になっている。また、◎は「ヨモギ」の「ヨ」が変。「ヨ」の縦線と同じものが中程にも見える。△は「ヨモギ」の「キ」の縦線が横線二本の間を欠くため「テ」のごとくにも見える。
- 30 Na 49の●は「ユタカ也」を「エタカ也」に誤り(「ユ」と見るか「コ」と見るかの判断は難しいが、ここは明らかに「エ」である)、◎は「ヲ、イ也」の「ヲ」を「ラ」に誤る。
- 31 Na 53の●は見出し左側の「クイ」が「クワイ」(音注にしようとしたか。音注は本書も含め右側に「クハイ」とある)とある。また、「ツウル」(「クウル」の誤り)の「ツ」も初画乃至は第二画の点がない。但しこれは、「ク」にするための削除ではなく、明らかに「ツ」の欠刻である。
- 32 Na 54の●は「カヘリマウス」の「ス」を「ヌ」に誤る。
- 33 Na 55の●は濁点のない「ナケク」にする。また、◎は「ホケク」(「ナゲク」の誤り)の「ケ」の初画の一部と横線を欠くため「ク」に見える。なお、「ホケク」は「ナゲク」の「ゲ」の初画・濁点が直上の「ナ」に接しているため「ホ」に錯覚してしまったものと判ぜられる。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。
- 34 Na 57の●は「タカヒク」(「タナヒク」の誤り)の「ヒ」の縦線を欠くため「ニ」に見紛う。また、◎は「タチツ、ク」を「タチソ、ク」に誤り、△は「タチソク」に誤る。
- 35 Na 58の●は「クチハシ」の「チ」の初画・第二画がともに同じ長さに刻されていて、縦線も上に突き抜けて見えるため「キ」に見紛う。或いは「キ」に誤るか。
- 36 Na 59の●は「サガシ」を「サガン」に誤る。「シ」は「シ」の積もりでであろうか。「シ」には見えない。また、◎は「サガシ」の「ガ」の横線が末画縦線に接するまでの左部分を欠いて「ゲ」のごとく見えるが、正保四年b本は「サゲレ」(「レ」は「シ」の誤り)とあって、まったく「ゲ」になっている。正保四年b本が●の正保二年b本を承けていることがこれに拠り推定できる。
- 37 Na 61の●は濁点のない「キツ子ヒ」にする。該当の正保二年a本と正保四年a本との関係が推定できる。但し、後者は「キツ子ヒ」の「ヒ」の

初画を欠く。

- ③8 Na 64の●は「キコ」とあって、その下にやや右上がりの横線が見える。「フ」または「ヘ」の起筆部分であろうか。「キコフ」ならば、◎の正保三年版と一致する。

- ③9 Na 65の●は「フタシ」(「カタシ」の誤り)の「フ」に縦線を加えて「カ」にしているのが判るが、◎は「カタシ」を「カタル」に誤る。

- ④0 Na 66の●は「イタツカワシ」の「ワ」を「ハ」にする。

- ④1 Na 71の●は濁点のない「カソウル」にし、◎は「カツウル」に誤る。

- ④2 Na 74の●は濁点のない「ウハウ」にする。但し、語尾の「ウ」の初画(点)は摩滅していて不鮮明である。また、◎は「ウバウ」の「ウ」(語尾)の初画が第二画の縦線上にあるため「カ」に見紛う。△は「ウバウ」を「ウバワ」に誤る。「ワ」は「ウ」の欠刻ではない。なお、▲は「ウバウ」を「タバウ」に誤り、□はそれを訂するが、「タ」の上部のみが埋木であるためか、「ウ」とは判じ難い。

- ④3 Na 75の●は「アガタ」を「アガク」に誤る。「カ、ク」の「カ、」を「アガ」に改めるも、「ク」を訂するまでには及ばなかったか。また、◎は濁点のない「アカタ」にする。

- ④4 Na 77の●は「ハナムケス」を「ハナムタス」に誤り、◎は「ハナケラス」、△は「ハカケラス」にそれぞれ誤る。

- ④5 Na 79の●は「ヘツラウ」を「ヘツフウ」に誤る。

- ④6 Na 81の●は「ソナ」(「ソナヘ」の「ヘ」の脱)を更に「ツナ」に誤り、◎は「ツテ」に誤る。また、△は「ソナヘ」の「ソ」の初画を欠く。

- ④7 Na 84の●は「ツマツク」を「マツウ」に誤る。「ツ」の字を脱することによる誤りであろうか。また、◎は「ツマツク」の「マ」(横線の下に点のある異体のカナ)の横線が僅かにしか見えず、「ツ、ツク」に見紛う。

- ④8 Na 85の●は「ヒルカヘル」の「ヒ」の初画(横線)を欠くため「レ」に見紛う。

- ④9 Na 87の●は「エムル」(「セムル」の誤り)を更に「エムハ」に誤るが、◎は「セムル」に訂している。

- ⑤0 Na 88の●・△はともに「クチュカム」の「ム」を左側界線上にずらして刻している。このままだとスペースの都合上、どうしても「ム」を小さく刻さざるを得ないからである。なお、△は●に対して「クチュカム」の「ユ」を「ニ」にも誤る。◎は「クチュカム」の「ユ」が「エ」に見え、「ム」も一見それとは判じ難い。▲は「クチュカム」を「クチュカ

ン」に誤り、□は「クチコカス」に誤る。

- ⑤1 Na 89の●は濁点のある「ノゾム」にする。また、◎は「ノソム」の「ソ」の末画起筆部分が左に少しばかり曲がっているため「ワ」に見紛う。或いは「ワ」に誤るか。△は「ノソム」の「ソ」の初画が末画と交叉して「メ」のごとく見える。

- ⑤2 Na 90の●は「スミヤカ也」の「ヤ」を「セ」に誤る。該当の正保二年a本と正保四年a本との関係が推定できる。

- ⑤3 Na 91の●は「ハス」を「ハヌ」に誤る。

- ⑤4 Na 93の●は「アフラツク」の「ラ」が「ヲ」に見える。或いは「ヲ」に誤るか。また、◎は「アフラツク」の「ツ」が「ヨ」を右に傾斜させたごとくある。△は「アフラツク」の「ア」を「ヤ」に誤る。該当の正保二年a本と正保四年a本との関係が推定できる。

- ⑤5 Na 94の●は「ヲカス」の「ス」の上部を欠くため「ム」の横線を欠いた形に見える。正保四年b本が「ヲカム」に誤るのも、この正保二年b本に拠っていたと見るならば理解できる。

- ⑤6 Na 95の●は「カワク」を「カフク」に誤る。「フ」は「ワ」の欠刻ではない。また、◎は「カワク」の「ワ」の初画が長く、末画縦線も後半部を欠くか、短いため「ロ」の末画横線のない形に見える。これに対し、△はまったく「ロ」に誤る。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。

- ⑤7 Na 98の●は「イタツカワシ」を「イタツカツル」に誤る。

- ⑤8 Na 102の●は「ヲワル」にも見えるが、「ワ」の横線が一部を残し削除されていると見ることもできる。本稿では「ワ」を「ソ」に訂したものとして処理することにする。

- ⑤9 Na 104の●は「モノツクル」を「モノツクハ」に誤る。

- ⑥0 Na 105の●は濁点のない「クサヒ」にする。

- ⑥1 Na 106の●は「ユツル」の「ツ」の第二画(点)を欠くため「ソ」に見える。或いは「ソ」に誤るか。また、◎は濁点のある「ユヅル」にし、△は「ユツル」の「ツ」が「ヲ」のごとくある。△である正保四年b本が正保二年b本の「ソ」を承けて第二画に平行に初画の点を加えたがために「ヲ」のごとくなったのであろうか。

- ⑥2 Na 108の●は濁点のある「ツクノウ」にする。また、◎は「ツタノウ」(「ツクノウ」の誤り)の「タ」と「ノ」の間に「ノ」のごとき線が確認できる。衍か。

- ⑥3 Na 110の●は「ウツホ」(「ウツ」の誤りで、「ホ」は衍)の「ホ」が漢数

79 No. 141の●は「ヒラク／メル」(「ヒラメク」の誤り)。「ヒラク」と「メル」

の二行に刻す)の「ル」の末画撥ねの部分を欠くため「リ」に見える。
なお、「ヒラク／メル」の「メ」は漢文注の略符号(「一」と接してい
て「タ」に見紛う。また、◎は「ヒラク／ク」に誤る。漢文注の略符号
は二つの「ク」の間に見えるが、略符号としては下に位置する。錯誤で
あろうか。

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	No.										
3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	韻 目										
虚	態	態	態	複	虚	虚	器	乾	器	器	門 名										
103ウ 4	103オ 6	103オ 5	103オ 5	102ウ 6	102ウ 4	102ウ 3	102ウ 1	102オ 2	101オ 4	101オ 3	丁数・行数										
較	掇	樂	啄	躅	觸	沃	桔	蜀	鏃	牘	見 出 字										
アラヤ (ア)ル	アラユル	クイツ	ウツル	シラフイル ヲトナイル	クナハシ	ツキハシ ツイハム	サトル	ヲトル	フル、 カハル	ツク	タハク	ソハク スハク	テホシ	テカセ	クツシム	クフムシ	ヤジリ	ヤシリ	フク	フタ	付刻カナ の異同
	○	○		○		○		●		○		○		○		○	●		○	○	刊 記 墨 丁
	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○	○		寛永 3 年
	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○	○		寛永 5 年
	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永 7 年
	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永 9 年 a
	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○	○		寛永 15 年
	○	○		○		○		○		○		○		○		○		○	○		寛永 9 年 b
	○		○	○		○		○		○		○		○		○		○		○	寛永 10 年
	○		○	○		○		○		○		○		○		○		○	○		寛永 16 年
	○		●	○		○	○			○	○			○		○		○	○		寛永 19 年
	○		●	○		○	○			○		○		○		○		○	○		正保 2 年 a
	○		●	○		○	○			○		○		○		○		○		○	正保 4 年 a
○			○	○		○		○		○		○		○		○			○		寛永 21 年 a
○			○	○		○		○		○		○		○		○			○		寛永 21 年 b
○		○	○	○		○		○		○		○		○		○			○		正保 2 年 b
	○		○	○		○		○		○		○		○		○			○		正保 3 年
○			○	○		○		○		○		○		○		○			○		正保 4 年 b
○			○	○		○		○		○		○		○		○			○		慶安 3 年

諸 本

甲 類

乙 類

丙 類

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	No												
7	5	5	4	4	4	4	4	4	3	韻 目												
乾	複	器	虚	食	生	態	態	態	複	門 名												
108オ 2	106ウ 1	106オ 5	105オ 1	104ウ 3	104ウ 2	104ウ 1	104オ 7	104オ 6	103ウ 6	丁数・行数												
埃	欵	紉	溢	蜜	橘	慄	慄	疾	颯	見 出 字												
カ マ	カ マ ツ キ	タ チ ノ チ	ニ ワ カ マ チ	ツ キ	ツ ナ	コ チ ル	ア マ ル	ハ キ ノ コ	ハ チ ノ コ	タ チ ○ ナ	タ チ ハ ナ	ツ 、 シ フ	ヲ ソ ル	ヲ ソ ル	ハ ツ ル	ヲ ト シ	ト シ ・ ・ コ ク ム	ヤ マ イ ・ ニ ク ム	ス タ ル	ミ タ ル	付刻カナ の異同	
	○		○	○		●		○			○	○		○		●					○	刊 記 墨 丁
	○		○	○		○		○			○	○		○		○					○	寛永 3 年
	○		○	○		○		○			○	○		○		○			○		○	寛永 5 年
	●		○	○		○		○			○	○		○		○					○	寛永 7 年
	◎		○	○		◎		○			○	○		◎		○					○	寛永 9 年 a
	○		○	○		○		○			○	○		○		○					○	寛永 15 年
	○		○		○	○		○			○		●	○		○				●	○	寛永 9 年 b
○		○		○	○	○		○			○		○		○		○			◎	○	寛永 10 年
	○		○	○	○	○		○			○	◎	○	○		○		○		◎	○	寛永 16 年
	○		○	○	○	○		○			○	○	○	○		○				◎	○	寛永 19 年
	○		○	○	△			○			○	○	○	○		△				◎	○	正保 2 年 a
	○		○	○		○		○			○	○	○	○				○		◎	○	正保 4 年 a
	○		○	○		○	○				○	△		○		○		○		○	○	寛永 21 年 a
	○		○	○		○	○				○	△		○		○		○		○	○	寛永 21 年 b
	○		○	○		○	○			○	○	△		○		○		○		○	○	正保 2 年 b
	○		○	○		○	○			○	○	△		○		○		▲		○	○	正保 3 年
	○		○	○	△			○			○	△		○				○		○	○	正保 4 年 b
	○		○	○		○	○			○	○	△		○		○		○		○	○	慶安 3 年

諸 本

甲 類

乙 類

丙 類

41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	No												
10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	8	韻	目											
虚	虚	虚	光	態	態	態	気	乾	態	虚	門	名											
114オ 7	114オ 7	114オ 6	114オ 3	113ウ 2	113ウ 2	113オ 6	113オ 4	113オ 2	112オ 4	110ウ 7	丁数・行数												
泄	缺	渴	哲	傑	訃	羞	姪	埤	刷	适	見	出 字											
モル、	モル	カクル	カク	アフル	カハク	マカリ	ヒカリ	イチシルシ	イチシロシ	コワム	アハク	ライテル	ライホレタリ	ヲチ	ヲイ	カリツカ	アリツカ	カイツクラウ	カイツクロウ	スミヤカ	スミヤカ也	ヨル	付刻カナ の異同
																							諸 本
	○		○	○		○			○				●			○		○	●			○	刊 記 墨 丁
	○		○	○		○		○	○			○	○			○		○	◎			○	寛 永 3 年
	○		○	○		○		○	○			○	○			○		○	◎			○	寛 永 5 年
	○		○	○		○		○	○			○	○			○		○		○		○	寛 永 7 年
	○		○		●	○		○	○			○	○			○		○	○			○	寛 永 9 年 a
	○		○	○		○		○	○			○	○			○		○	◎			○	寛 永 15 年
	○		○	○		○		○	○			○				○		○				○	寛 永 9 年 b
		○		○		○	○			○		○	○			○		○			○	○	寛 永 10 年
	○		○	○		○		○	○		○		○			○		○				○	寛 永 16 年
	○		○	○		○		○	○		○		○		○		○					○	寛 永 19 年
○		○		○		○		○	○		○		○		○		○					○	正 保 2 年 a
	○	○		○		○		○	○		○		○		○		○					○	正 保 4 年 a
	○	○		○		○		○	○		○		○		○		○	○				○	寛 永 21 年 a
	○	○		○		○		○	○		○		○		○		○	○				○	寛 永 21 年 b
	○	○		○		○		○	○		○		○		○		○	○				○	正 保 2 年 b
	○		○	○		○		○	○		○		○		○		○		○			○	正 保 3 年
	○	○		○		○		○	○		○		○		○		○	○				○	正 保 4 年 b
	○	○		○		○		○	○		○		○		○		○	○				○	慶 安 3 年

甲類
乙類
丙類

52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	No		
11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	韻目		
虚	器	器	態	態	態	態	支	複	虚	虚	門名		
116オ7	116オ4	116オ1	115ウ5	115ウ5	115ウ2	115ウ1	115オ7	114ウ4	114ウ2	114ウ1	丁数・行数		
略	惇	屨	度	縛	惹	諾	膜	躡	潔	凸	見出字		
ハカリ コ	ホハカリ コト	ヒツキ ヒツコ	ワラクツ フサクツ	メクウ スクウ	シワル シハル	ヨタル カハル	ミタル ナヤマス	ヲケカウ ヲケカウ	タナシ タナシ	アシナヘ アシナヘ	カラシ イサキヨシ	ナカメカ ナカタカ	付刻カナ の異同
											諸本		
●		○		○	○		●		○		○	○	刊記墨丁
	○	○		○	○		○		○		○	○	寛永3年
	○	○		○	○		○		○		○	○	寛永5年
	○	○		○	○		○	○	○		○	○	寛永7年
	○	○		○	○		○	○	○		○	○	寛永9年a
	○	○		○	○		○	○	○		○	○	寛永15年
	○	○		○	○		○	○	○		○	○	寛永9年b
	○	○	○		○		○	○			○	○	寛永10年
	○	○		○	○		○	○			○	○	寛永16年
	○	○		○	○		○	○			○	○	寛永19年
	○	○		○	○		○	○			○	○	正保2年a
	○	●		○		○		○			○	○	正保4年a
	○		○		○		○		○	●	○	○	寛永21年a
	○	○		○	○		○		○	●		○	寛永21年b
	○	○		○	○		○		○	◎	○	○	正保2年b
	○	○		○		○	○		○	◎		○	正保3年
	○	○		○	○		○		○		○	○	正保4年b
	○		○	(○)	○		○		○	(●)	○	○	慶安3年

甲類
乙類
丙類

63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	No.
13	13	12	12	12	12	12	12	11	11	11	韻目
光	態	虚	虚	虚	態	態	態	虚	虚	虚	門名
119ウ 5	119ウ 1	118ウ 4	118ウ 3	118ウ 2	118オ 1	117ウ 7	117ウ 6	116ウ 1	116オ 7	116オ 7	丁数・行数
哲	羅	繹	阨	窄	撫	摘	擘	莫	綽	若	見出字
ヒロシ アキラカ也	コシヨ子	カシヨ子	ツラスク	ツラス	ハサハル	サハル	スホル	スホシ	ヒロウ	ヒロフ	付刻カナ の異同
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	諸本
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刊記墨丁
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永5年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永7年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永15年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永10年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永16年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永19年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	慶安3年

74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	No.
15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	韻目
態	態	態	虚	虚	虚	虚	虚	器	態	支	門名
123オ 5	123オ 4	123オ 4	122オ 4	123オ 3	122オ 3	122オ 3	122オ 2	121ウ 6	121ウ 4	121オ 5	丁数・行数
執	繫	揖	直	極	亟	逼	側	軾	測	肋	見出字
トシ マホル	ウソ・ ホタサル	コマル イツシカ・ ヲサム	ナラシ ナラス	キハムル キハム	スミカ シハノ シミヤカ	セマル ツムル	カタフク カタワラ	ツシマツキ シキミ	ハタル ハカル	カタワラ カタハラ	付刻カナ の異同
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	諸本
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	刊記墨丁
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永5年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永7年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永15年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永9年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永10年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永16年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永19年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 a
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	寛永21年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保2年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保3年
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	正保4年 b
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	慶安3年

77		76		75		No	
18		17		16		韻 目	
器		虚		態		門 名	
126オ 7		125ウ 5		124オ 4		丁数・行数	
鋤		捷		蹋		見 出 字	
ムキ		スキ		ツム		付刻カナ の異同	
		トル		カッ		諸 本	
		トシ				刊 記 墨 丁	
						寛永 3 年	
						寛永 5 年	
						寛永 7 年	
						寛永 9 年 a	
						寛永 15 年	
						寛永 9 年 b	
						寛永 10 年	
						寛永 16 年	
						寛永 19 年	
						正保 2 年 a	
						正保 4 年 a	
						寛永 21 年 a	
						寛永 21 年 b	
						正保 2 年 b	
						正保 3 年	
						正保 4 年 b	
						慶安 3 年	

(注記)

- ① Na 1の●は「シ、」とあるが、踊り字の左側にある漢文注(「藥」)に略符号(「一」)がない。本書寛永九年b本以前の「シ、」の訓を持つ諸版は、略符号と踊り字が接して「シト」に見紛うが、●のように略符号を削除すればその虞はなくなる。なお、「シカ」の訓を持つ諸版も、漢文注の略符号は認められない。
- ② Na 2の●は「シ、ムラ」の踊り字が横線になっていて、しかも「ム」の起筆部分に点のごときものが見えるため、異体の「マ」の字(横線に点を付す)に見えなくもない。寛永十九年版が「マ」に誤るのは、特定はできないにしても、斯かる類の版種に基づいていたからではあるまいか。
- ③ Na 3の●は「ナゲク」の「ゲ」の濁点を一点のみ付す。また、◎は「カケシ」(「ナケク」の誤り)を更に「ナケシ」に誤り、△は「カナシ」にする。
- ④ Na 6の●は「ヤシナウ」とあるが、「ヤ・カ」は埋木である。また、◎は「ウシカウ」を「ウシカワ」に誤る。或いは「ウシカウ」の「ウ」(語尾)の初画の欠と見るべきか。なお、「ウシカウ」・「ヤシナウ」の訓は入声屋韻の訓注としては何れも合致するが、漢文注「養也」にしたがうならば「ヤシナウ」となるう。
- ⑤ Na 11の●は「ヤシリ」の「シ」に濁点を一点付す。
- ⑥ Na 13の●は「テホシ」を「テカシ」にする。

- ⑦ Na 15の●・◎はともに「ツク」を「ツタ」に誤るが、◎は更に「カハル」を「カハル、」にする。
- ⑧ Na 16の●は「ヲトル」の「ヲ」の初画(横線上部)を欠き、◎は「フトル」に誤る。
- ⑨ Na 19の●は「ウツ」を「タイウツ」に誤る。該当の諸本の関係が推定できる。
- ⑩ Na 21の●は「ミタル」の「ミ」の初画右側に縦線があり、「コ、」或いは「ヨ」に見紛うが、◎はまったく「ヨ」に誤る。
- ⑪ Na 22の●は「ヲトシ」の「ヲ」の初画を欠く。また、◎は「コクム」を「ニクム」に訂し、▲は「トシ」を「ハヤシ」にする。△は「ヲトシ」の「ヲ」の横線を削除しようとしたのか、一部が見える程度で文字としても判断としない。
- ⑫ Na 24の●は「ツ、シフ」を「ヲノ、ク」に訂しようとするも、「ヲ」を「ラ」に誤る。また、◎は「ヲソル」を「ヲツル」に誤り、△は「ヲメル」に誤る。
- ⑬ Na 25の●は「タチハナ」の「タ」の下に「ハ」のごとき字が見える。
- ⑭ Na 27の●は「コチル」(「ミチル」の誤りか)の「チ」の初画がかすかに見える程度であるため「ナ」に見紛う。また、◎は「ミチル」が「ニチル」に見えるが、「ミ」の第二画は僅かであるが確認できる。これに対し、△は明らかに「ミチル」とある。
- ⑮ Na 28の●は「ツナ」を「ツケ」に誤る。
- ⑯ Na 29の●は「タチマチ」を「タケマチ」に誤る。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。また、◎は「ニワカ」の「ニ」の横線が一本しかない。
- ⑰ Na 30の●は「カマト」の「ト」の第二画を欠く。また、◎は「クロツキ」の「キ」の縦線が横線第二番目以下を欠くため「土」のごとく見える。
- ⑱ Na 32の●は「カイツクラウ」(歴史的仮名遣いは「カイツクロウ」)の「ラ」の末画縦線を欠くため「二」に見えるが、◎はまったく「二」に誤る。寛永三年版が刊記墨丁本を承けていたことが推定できる。なお、寛永五年版も同様に「二」に誤るが、これは寛永五年版が寛永三年版を承けての結果であって、刊記墨丁本に基づいてのことではない。
- ⑲ Na 35の●は「ライホル」の「ホ」が「テ」に見えるが、「ホ」の下部、「小」の左側の点が界線中に刻されているのははっきりと判る。また、◎は「ライホレタリ」の「レ」を「ル」に誤る。寛永二十一年a本が甲類乙類ではなく、刊記墨丁本の「ライホル」に基づき、これに「タリ」を追

①

(b)

⑤ No. 6の●は「ヲ、イナリ」の踊り字の有無が判然としない。「イ」の起筆部分に僅かながら曲がりが見えるため、これをもって踊り字と見做すこともできるが、◎はそのような曲がりはない。但し、「イ」の起筆部分は若干太くなっている。

⑥ No. 7の●は「カタフク」が「カタクク」に見える。また、◎は「カタフク」の「カ」の末画縦線が初画横線部に境に見られない。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。

⑦ No. 10の●は「モム」の「ム」の横線が僅かながら見えるが、◎はまったく「ハ」に誤る。なお、掲載の「メル」は「スル」の誤りである。

⑧ No. 11の●・△は「クタビル」の「ク」が「タビル」に対し、左側に刻されているが、▲は一行に揃えている。なお、●に対し、△・▲は濁点のない「クタヒル」にするが、◎も濁点のない「クタヒル」にする。

[illegible]

① No.2の●は「アグ」の濁点が一点のみ見える。欠刻であろう。また、◎は「トグ」「アグ」の誤りの「グ」が「ゲ」に見える。該当の正保二年a本と正保四年a本との関係が推定できる。△は「アグ」の「ア」の未画縦線が上に突き抜けていて「ヤ」のごとく見える。但し「ヤ」と見た場合、横線は縦線より左には出ていない。正保二年b本における「アグ」の「ア」の縦線が左寄りに刻されているのを承けての誤りと判ぜられる。

② No.3の●は「サカノホル」の「ノ」が「カ」の右側に認められるが、それが見出し「渇」の三水、第二画と第三画の間にあるため第三画の起筆部分にも見える。正保二年b本が「サカホル」に再び誤るのは、この寛永二十一年a本を承けた結果であると推定できる。したがって、正保二年b本と正保四年b本の見出し「渇」の三水は、第二画と第三画が連続する字体になっている。他本は、正保三年版以外、すべて楷書体の三水である。

③ No.4の●・◎はともに「タチモトラル」を「タテモトラル」に誤るが、◎は更に「ヲ」の末画が初画横線より上に伸びている。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。

④ No.5の●は「ソムク」を「ソムウ」に誤る。該当の正保二年b本と正保四年b本との関係が推定できる。

5	4	3	2	1	No.
18	16	12	4	4	韻 目
態	態	態	食	態	門 名
62ウ1	55ウ2	43オ5	12ウ6	11オ6	丁数・行数
拗	撰	憤	滓	侈	見 出 字
ラシフル	ラシフル	イキナラル	イキナラル	イキナラル	付刻カナの異同
○フ	○フ	○フ	○フ	○フ	諸 本
○	○	○	○	○	刊 記 墨 丁
○	○	○	○	○	寛永3年
○	○	○	○	○	寛永5年
○	○	○	○	○	寛永7年
○	○	○	○	○	寛永9年 a
○	○	○	○	○	寛永15年
○	○	○	○	○	寛永9年 b
○	○	○	○	○	寛永10年
○	○	○	○	○	寛永16年
○	○	○	○	○	寛永19年
○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	正保2年 a
○	○	○	○	○	寛永21年 a
○	○	○	○	○	寛永21年 b
○	○	○	○	○	正保2年 b
○	○	○	○	○	正保3年
○	○	○	○	○	正保4年 b
○	○	○	○	○	慶安3年

(c) 上声

- ① Na.1の●は「アモソラ」の「ラ」が見える。或いは「ヲ」に誤るか。なお、掲載の「カマソラ」は「アモソラ」の誤りである。
- ② Na.4の●は「スル」の「ス」を埋木して「ヌ」にしている。
- ③ Na.6の●は「タタク」(「タスク」の誤り)を更に「タタタ」に誤り、◎は第二番目の「タ」を「ク」とその横に踊り字を付したごとくつくる。

(注記)

7	No.
13	韻 目
気	門 名
94オ4	丁数・行数
駮	見 出 字
フチムマ	付刻カナの異同
ソヘムマ	諸 本
○	刊 記 墨 丁
○	寛永3年
○	寛永5年
○	寛永7年
○	寛永9年 a
○	寛永15年
○	寛永9年 b
○	寛永10年
○	寛永16年
○	寛永19年
○	正保2年 a
○	正保4年 a
○	寛永21年 a
○	寛永21年 b
○	正保2年 b
○	正保3年
○	正保4年 b
○	慶安3年

甲 類

乙 類

丙 類

- (1) 寛永七年版(寛永五年版の後印本。甲類所属。拙蔵本)
- (2) 寛永八年版(奥村三雄氏著『聚分韻略の研究 古本四種影印 慶長版総索引』に掲載。甲類所属か。未見)
- (3) 慶安元年版(右、奥村氏の著書に掲載。丙類所属か。未見)
- (4) 無刊記本(刊行年を欠く。二条仁左衛門。甲類所属。拙蔵)
- 最後に、本稿未採用の七行付訓本を掲げておく。このうち、
- (1)・(6)は稿者の知る限り七行付訓本としては未紹介のものである。

- ④ Na.6の●は「ワキ」(「ハキ」の誤り)を更に「ウキ」に誤る。
- ③ Na.5の●は「ヲシフル」の「ヲ」(語中)の初画に切れ目が見える。寛永十九年版が「ヲシフル」を「ヲシフル」に誤るのは、特定はできないにしても、斯かる欠刻のある版種に拠ったからではあるまいか。
- ② Na.4の●は「ノフ」の「ノ」が横線になっているため「ラ」に見える。二画に誤ったか。
- ① Na.2の●は「カメ」を「カタ」に誤る。「カ」の末画縦線を「タ」の第二画に誤ったか。

(注記)

7	6	No.
29	24	韻 目
器	支	門 名
97オ7	82オ5	丁数・行数
琰	脛	見 出 字
クマ	タマ	付刻カナの異同
ワキ	ハキ	諸 本
○	○	刊 記 墨 丁
○	○	寛永3年
○	○	寛永5年
○	○	寛永7年
○	○	寛永9年 a
○	○	寛永15年
○	○	寛永9年 b
○	○	寛永10年
○	○	寛永16年
○	○	寛永19年
○	○	正保2年 a
○	○	正保4年 a
○	○	寛永21年 a
○	○	寛永21年 b
○	○	正保2年 b
○	○	正保3年
○	○	正保4年 b
○	○	慶安3年

甲 類

乙 類

丙 類

本)

(5) 無刊記本(国会図書館蔵本(伊呂波韻との合本)で同図書館蔵の正保二年b本に同じ。刊記部分の一枚を

削除したか。丙類所属)

(6) 未詳本(拙蔵の慶安三年版(丙類)に混入した乙類所属

の版種の一部。本稿採用の乙類所属本にはない訓が認められる)

付記 紙数の都合上、付訓本諸版の関係について触れることを

断念したが、注記を通してその幾つかは了解できるのではないかと思う。ともかく改めて報告することにした。